



ライフチャレンジザウォーク



放課後子ども教室



中河内スポレク部事業 モルック



研修部会



校区だより 旭ヶ丘校区

旭ヶ丘小学校は、昭和56年4月1日に国分西地区・旭ヶ丘地区・円明地区（一部地域）の児童937名で開校しました。現在は、約三分の一の294名が学んでいます。また、当時の国分西地区・旭ヶ丘地区の人口は6,925名（昭和56年3月）で、現在は7,732名と増加しています。人口は増えても児童数はかなり減っていることから、少子化が進んでいることがよくわかります。

私達青少年指導員は、小・中学生が健全で健やかに成長する事を願い、校区パトロール・健全育成会事業（フェスタなど）・放課後子ども教室（門松作りなど）の活動をしています。これからも11名の青指メンバーで学校と連携し、地域の皆さんと協力し合い、子ども達にとってより良い活動になるよう努めてまいります。



※令和5年11月撮影

子どもたちの健やかな成長を願い、地域とともに



柏原市青少年指導員協議会
会長 山本 理

平素より柏原市青少年指導員協議会の活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度は5月以降コロナ感染症が5類となり、日常を取り戻すべく各事業の通常開催に努めて参りました。過去の実績や慣習に囚われることなく現況に即した内容へのバージョンアップに力を傾けました。地域の皆さまとの連携再構築にも少なからず手応えを感じつつ、3月の年度末までさらにペースアップと考えていました。しかしながらその矢先、石川県能登地方で地震が発生し甚大な被害が発生しました。元日から、土砂崩れや家屋の倒壊、地割れで道路が寸断されるさまを目の当たりにする事になってしまいました。

私たちの地域では小さな揺れを感じる程度で、いつも通りのお正月を過ごすことが出来たのですが、近い将来、発生が予想される南海トラフ地震で起こることを想像するにあたっては、災害時の子ども達の自助・共助について深く考えさせられる機会となりました。

健全育成活動の中に防災意識に関するコンテンツを取り入れる必要性を改めて強く感じました。図らずも昨年10月、国分小学校区では健全育成会事業の一環として防災体験合宿を実施して下さいました。ぜひ他の校区でも地域の避難訓練や自主防災訓練とリンクさせながら実施していただけたらと思います。

今後においても時代にマッチした活動を模索し、着実な前進を心がけますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

バックナンバーはこちら



青少年かしわら

地域に根ざした活動で、一緒に子どもの笑顔を見ませんか

柏原東小学校区



ドッチビー・モルック・キンボール
のびのびルームで元気いっぱい！笑顔いっぱい！

旭ヶ丘小学校区



のびのびルームでは竹を使って七夕飾りや灯笼
づくり、毎年恒例になった門松作りもしました。

堅下北小学校区



子ども達と一緒に傘袋ロケット作り！遠くへ飛
ばしたり、わっかくぐりをして楽しみました。

玉手小学校区



ネットの横に立つ青指のおちゃんがキャッチ
したら、おっちゃんポイントのおまけです。

柏原小学校区



今年もっとたくさん、子ども達の元気な声と
明るい笑顔に出会える活動をしていきたいです。

堅下南小学校区



ポッチャ体験会モルック遊びなんなんdayでは缶
バッジ作りとビンゴ大会、大変盛り上がりました。

堅上小学校区



のびのびルームでモルック、フェスタで缶バッジを
しました。地域の方とも交流ができ、良かったです。

地域ふれあい清掃

子どもたちと一緒に校区内の清掃活動をして
います。積極的にごみを拾う姿があら
こちらで見ることができ、みんないい笑顔
をしています。

校区フェスタ

缶バッジ作り、傘袋ロケット作り、ドッチ
ビー、モルック、ポッチャ、ビンゴ大会な
どなど大人も子どもも楽しめる催しを実施
しています。生き生きとした子どもたちの
笑顔と歓声が体育館に響き渡ります。

地域見守り活動

『地域の子どもは地域で育てる』
を合言葉に地域と学校をつなぐ橋渡
しの役割を担い、子どもたちの成長
を支えるための活動をしています。

国分小学校区



子どもたちと、一緒になって作る未来。
花いっぱい運動、防災合宿、缶バッジ

堅下小学校区



4年ぶりの「かたしもフェスタ」で缶バッジ制
作。会話の中に地域のつながりを感じました。

花いっぱい運動

『地域で守ろう、育てよう
未来を担う子どもたちを』
思いやりの心と愛情を花に託して
子どもたちへ贈りましょう。

